

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	成人援助論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	伊藤 庸子	実務経験と その関連資格	総合病院循環器系内科病棟に看護師として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>手術に伴う身体侵襲とボディイメージの変化を理解し、手術後の機能障害、機能喪失に対する援助や手術後の継続的な自己管理に関する援助を学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>授業参加状況、演習への取り組み、課題提出状況、筆記試験で評価する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①系統看護学講座 成人看護学1 成人看護学総論 医学書院 ⑥系統看護学講座 別巻 臨床看護各論 医学書院 ②系統看護学講座 成人看護学3 循環器 医学書院 ⑦系統看護学講座 別巻 臨床看護総論 医学書院 ③系統看護学講座 成人看護学5 消化器 医学書院 ⑧看護がみえる フィジカルアセスメント メディックメディア ④系統看護学講座 成人看護学9 女性生殖器 医学書院 ⑨よくわかる周手術期看護 Gakken ⑤系統看護学講座 基礎看護学4 臨床看護総論 医学書院 ⑩周術期看護 学習ワークブック メヂカルフレンド社</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>疾患の解剖生理、病態生理を既修の授業に基づき確認しておく。授業内容を振り返り、ノートにまとめる。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>成人援助論は看護実践能力を養うことを目標にしており、基本から積み重ねた学習が必要となる。1年次の「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「成人看護学概論」の復習をして、授業に臨んでほしい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	急性期から回復期にある患者・家族の特徴と看護を理解できる。 手術を受ける患者・家族の特徴を説明できる。	教科書他	授業内容をノートにまとめる。	
		各コマに おける 授業予定	手術療法を受ける患者の特徴と看護			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	術前の看護が説明できる。	教科書他	授業内容をノートにまとめる。	
		各コマに おける 授業予定	手術療法を受ける患者の看護(術前の看護)			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	術中の看護が説明できる。	教科書他	授業内容をノートにまとめる。	
		各コマに おける 授業予定	手術療法を受ける患者の看護(術中の看護)			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	術後の看護が説明できる。	教科書他	授業内容をノートにまとめる。	
		各コマに おける 授業予定	手術療法を受ける患者の看護(術後の看護)			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	術後の病室・ベッドの準備、DVT予防、術後のバイタルサイン測定と観察ができる。	モデル人形他	フィジカルアセスメントを復習しておく。第1回～4回の授業内容を復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	周手術期(術後)に必要な看護技術			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	排痰援助、疼痛管理、ドレーン管理、早期離床のための援助ができる。	モデル人形他	フィジカルアセスメントを復習しておく。第1回～4回の授業内容を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	周手術期(術後)に必要な看護技術		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	胃の手術を受ける患者の特徴を説明できる。	教科書 DVD他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	胃がんで手術を受ける患者の特徴		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	胃がんで胃切除術を受ける患者に必要な看護が説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	胃がんで胃切除術を受ける患者の看護		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	大腸の手術を受ける患者の特徴を説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	大腸がんで手術を受ける患者の特徴		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	大腸がんで人工肛門造設術を受ける患者に必要な看護が説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	人工肛門造設術を受ける患者の看護		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	乳房の手術を受ける患者の特徴を説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	乳がんで手術を受ける患者の特徴		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	乳がんで乳房切除術を受ける患者に必要な看護が説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	乳房切除術を受ける患者の看護		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患患者の特徴を捉え、急性期に必要な看護が説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	心筋梗塞患者の特徴と看護		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患患者の特徴を捉え、急性期に必要な看護が説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	狭心症患者の特徴と看護		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心不全患者の特徴を捉え、急性期に必要な看護が説明できる。	教科書他	既習(疾患の解剖生理、病態生理)の学習を復習しておく。授業内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	心不全患者の特徴と看護		